『2011』

　をとりまくの

**1.　と　の**

により、2009ののやそのは、ともべきを。

 では、この20のをとらえるとして、のにおけるプレイヤーである（もしくはプレイヤーとなりつつある）、「NAFTA, EU, ASEAN,メルコスール、」と「」をの「」ととらえ、この6におけるをし、をすることにより、20におけるのなのをとともに、このにより、というショックが、にをいくこととする。

**（1）6のの**

**①2・の（＋）とシェアの**

 6におけるのをするため、・における（＋）をチャートで（第2－1－1－1図、第2－1－1－2図、第2－1－1－3図）、それら6に2・のシェアをする（第2－1－1－4表）。

3 それぞれについてのをみると、1990では、NAFTA－EU、NAFTA－、EU－と、いわば・のがのをいる（61.5％）ほか、シェアからみるとがのは－ASEAN（7.9％）、NAFTA－ASEAN（6.5 ％） やEU－ASEAN（5.8 ％）であり、いわばEU・NAFTA・というがするに、としてASEAN が加わるというであった。なお、のについては、－ASEAN がが、に（0.9％）は、1％にとどまっている。

2000 年時点でのシェア1、2 位は、（NAFTA－EU（27.0％）、NAFTA－日本（14.0％））は1990 とものの、1990 年時点の3、4 位であるEU－日本と日本－ASEAN というのが、2000 年ではNAFTA－ASEAN、NAFTA－中国にとって変わられ、1 ～ 4 位をNAFTA のがするとなっている。1990 年時点からののでいるのは、国－ASEAN（5.3 倍）、中国－NAFTA（5.3 倍）の貿易であり、中国のWTOをとして、のがをていたことがうかがえる。